

# 令和5年度学校自己評価システムシート（県立上尾鷹の台高等学校）

目指す学校像	「志、高く。思い、深く。夢、羽ばたく」学校
--------	-----------------------

重点目標	1 目標を持ち、自らの進路実現に向けて主体的に取り組む生徒を育む。 2 高い「志」を持ち、多くのことに積極的に挑戦するたくましい生徒を育む。 3 思いやりと感謝の心を持って他者とともに生き、ルールをしっかり守る生徒を育む。 4 地域とのネットワークをとおして、地域課題を解決し、自らの資質能力を高める生徒を育む。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの教員がICTを活用したり、グループ学習を行ったり授業改善が進んでいる。主体的・対話的で、特に、深い学びの実践も意識していく必要がある。</li> <li>進路実現に向けての補習等の取り組み度合いに課題がある。日々の授業や進路行事で学習意欲を喚起し、より高いレベルの目標を設定し進路実現に取り組む生徒を育成していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを効果的に活用し「個別最適な学び」「協働的な学びの実現</li> <li>知識・技能、学びに向かう力、思考力・判断力・表現力の確実な育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習アプリを活用した主体的な学習及び対話型授業や協調学習を取り入れた授業の充実（通年）</li> <li>②研究授業と教科を越えた互見授業の実施（1学期、2学期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教職員のICT活用スキルの向上と授業等での実践機会の増加</li> <li>②生徒アンケートにより、生徒の授業理解度・満足度・学習意欲の向上</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を持ち、自らの進路実現に向けて主体的に挑戦する生徒の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全年次で「キャリアパスポート」を導入し、有効活用する。（通年）</li> <li>②「学びの基礎診断」の有効活用、進路ガイダンスや各種補習、実力テストへの積極的な参加促進（通年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①科目選択の適切性・進路実現への取組・進路達成度の前年度割合の維持</li> <li>②進路行事への意欲度・補習参加生徒数・実力テスト参加者数の増加</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校で身に付けさせたい力の育成に学校行事と部活動が大きな役割を果たしている。加えて、ホームルーム活動や総合的な探究の時間も活用して、より高いレベルの目標を設定して挑戦する生徒を育成していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の高い志、将来社会を担うと言う責任感を醸成する教育活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教育効果の高い学校行事・部活動の実施及び総合的な探究の時間の充実（通年）</li> <li>②今年度から見直したルールについて生徒が納得し、生徒に主体的に守らせる生徒指導の実施（年度当初）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒アンケートにより、学校行事及び部活動、HR、総合的な探究の時間に意欲的・主体的に取り組む生徒の増加</li> <li>②生徒アンケートにより生徒のルールを守る意識の向上</li> </ul>			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>①発達障害を含む特別な教育的支援を必要とする生徒への支援の実施（通年）</li> <li>②観点別学習状況の評価も含めた学校のルールについて、生徒・保護者への適切な情報提供（各学期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①SC、SSW等外部支援の活用及び共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業の実施</li> <li>②保護者アンケートにより、生徒・保護者の教育活動への理解・信頼度・満足度の上昇</li> </ul>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変化に伴って生徒の状況は日々変化をしており、同時のその背後にいる保護者の意識も日々変化している。多様な生徒の背景を理解した上で、新たな課題にどう対応していくかどう支援していくかを考える必要がある。</li> <li>ICTを活用した働き方改革は徐々に進めることができている。今後も、上尾鷹の台高校「学校DX」のビジョンのもと、教員の「働き方」の量と質を同時に考え、丁寧に課題に取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インクルーシブで多様なニーズに応じた学びの場の整備</li> <li>家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立と差別やいじめのない人格形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各分掌等による業務の精選と見直しの継続実施（1学期までに）</li> <li>②採点支援アプリ、Classiの各種支援機能を利用した業務のICT化、簡素化の推進（1学期）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各分掌等の業務の精選、見直しの進捗度</li> <li>②教員アンケートにより、働き方改革への意識改革が進んでいる回答の増加</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革の推進による教員の指導力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①連絡デジタルツールを活用した保護者への有効な情報提供（通年）</li> <li>②地域の関係諸機関と連携し、地域に貢献するイベント等への協力（その都度）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタルツールの活用状況</li> <li>②生徒アンケートにより、ボランティア活動等への参加数の増加</li> </ul>			
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で縮小していたPTA行事や地域との連携行事について、単にもとに戻すのではなく、時代に即した保護者との関係性、地域との協力体制を築いていく必要がある。</li> <li>地域とのネットワークを大切にし、地域課題に協働して取り組む学校づくりを企業等と連携して進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者への情報提供による信頼関係の構築と地域連携による協力体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①既存の取組に加え、企業・地域と連携、協働した新しい取組についての積極的な広報（2、3学期）</li> <li>②参加者を満足させる説明会の実施（夏休み以降）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒アンケートにより、新しい取組についての肯定的評価増</li> <li>②説明会参加者及び入学希望者の増加</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の魅力の効果的な発信</li> </ul>					

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		

